

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 ヨシコン株式会社

コード番号 5280 URL <http://www.yoshicon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 立志

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉田 尚洋

TEL 054-205-6363

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,083	29.8	209	—	189	—	110	—
23年3月期第2四半期	3,917	△14.7	△128	—	△157	—	△106	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 132百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △131百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	14.67	—
23年3月期第2四半期	△14.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	16,228	8,255	50.9
23年3月期	15,950	8,232	51.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 8,253百万円 23年3月期 8,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.50	10.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	11.50	11.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成23年11月4日)公表いたしました「平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	20.0	1,150	63.2	1,100	71.6	600	62.7	79.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成23年11月4日)公表いたしました「平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	8,030,248 株	23年3月期	8,030,248 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	559,582 株	23年3月期	446,484 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	7,561,151 株	23年3月期2Q	7,594,804 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から全般的に持ち直す動きが見られるものの、長引く欧米諸国の債務問題、新興国の景気減速、更なる円高の進行等の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産業界でも、東日本大震災の影響により、企業活動や個人の消費行動にも変化が生じており、いまだ先行きが不透明な状態が続いております。このような経済環境下にあつて、当社グループの不動産事業分野では、常に変化する顧客の消費行動を的確に捉え、分譲マンションや分譲宅地などの販売用不動産の売却を進めるとともに、販売物件の早期商品化に取り組んでまいりました。

建設土木業界におきましては、民間・公共工事が減少する中、競合メーカーとの受注競争が一層激化しております。このような状況のもと環境事業分野では、公共工事に依存しない体質への変革を目指し建築用製品の販売を強力に進めるとともに、土木用製品についても、不動産事業分野との連携強化により受注競争の回避を図りつつ、販売価格の引き上げや受注量の確保をすべく活動してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は50億83百万円（前年同四半期比29.8%増）、営業利益は2億9百万円（前年同四半期は1億28百万円の営業損失）、経常利益は1億89百万円（前年同四半期は1億57百万円の経常損失）、四半期純利益は1億10百万円（前年同四半期は1億6百万円の四半期純損失）となり、前年同四半期に比べ大幅な増収・増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①不動産開発事業

不動産開発事業におきましては、平成23年8月完成の分譲マンション「エンブルクレア米山町」（沼津市）の引渡しの一部完了いたしました。また、在庫分譲マンションの販売引渡しや静岡市内の宅地分譲用地及び平成23年3月期に東日本大震災の影響で引渡しが遅れていた静岡市内の商業施設用地や焼津市内の工業施設用地なども順調に引渡しがされたことにより、大幅な増収・増益となりました。

この結果、売上高は20億58百万円（前年同四半期比99.9%増）、セグメント利益は1億76百万円（前年同四半期は22百万円のセグメント損失）となりました。

②賃貸・管理事業

比較的安定した収益が見込める賃貸・管理事業におきましては、既存保有不動産からの家賃収入や仲介手数料は横ばいで推移したものの、平成23年4月に取得した三島市の賃貸収益物件や新規オープンした駐車場収入等により増収、利益面でも前年同四半期に比べ不動産取得税の負担が軽減されたことなどにより増益となりました。

この結果、売上高は5億30百万円（前年同四半期比6.0%増）、セグメント利益は1億86百万円（前年同四半期比83.7%増）となりました。

③環境事業

環境事業におきましては、建築製品へ一部生産シフトを変更するなど、製造ラインの合理化を推進したものの、公共事業の縮減や慎重な設備投資姿勢が継続するなか、自社の土木製品取扱量の減少によりセグメント損失が増加いたしました。

この結果、売上高は12億87百万円（前年同四半期比0.2%減）、セグメント損失は1億7百万円（前年同四半期は77百万円のセグメント損失）となりました。

④特販事業

特販事業におきましては、住宅用PC部材の受注及び出荷は堅調に推移したことや一部東日本大震災での特需を取り込むことができたことに加え、工場の安定稼働により生産効率が向上した結果、利益率が上昇しセグメント利益は大幅に増加いたしました。

この結果、売上高は10億94百万円（前年同四半期比6.8%増）、セグメント利益は81百万円（前年同四半期比49.5%増）となりました。

⑤その他

飲食店売上、衣料品販売や保険代理店収入等で、売上高は1億12百万円（前年同四半期比55.4%増）、セグメント利益は29百万円（前年同四半期比118.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は162億28百万円（前連結会計年度比1.7%増）となりました。

流動資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したものの、販売用不動産や商品及び製品が増加したことなどにより、105億51百万円（前連結会計年度比3.7%増）となりました。固定資産は、建物及

び構築物の減少などにより、56億76百万円（前連結会計年度比1.8%減）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金、1年内返済予定の長期借入金が増加したものの、短期借入金が増加したため、52億49百万円（前連結会計年度比1.5%増）となりました。固定負債は、長期借入金の増加などにより、27億23百万円（前連結会計年度比6.9%増）となりました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は82億55百万円（前連結会計年度比0.3%増）となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

（自己資本比率）

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は50.9%（前連結会計年度比0.7ポイント減）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、6億82百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の減少（3億96百万円）、税金等調整前四半期純利益（1億86百万円）、減価償却費（1億26百万円）などによる資金調達に対し、販売用不動産の取得などによるたな卸資産の増加（△13億78百万円）、仕入債務の減少（△7億57百万円）、法人税等の支払（△85百万円）などにより支出した結果、営業活動により支出した資金は15億34百万円（前年同四半期は9億94百万円の支出）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

貸付金の回収（62百万円）などによる資金調達に対し、固定資産の取得（△24百万円）、貸付金の実行（△21百万円）などにより支出した結果、投資活動により得られた資金は13百万円（前年同四半期は82百万円の支出）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増（11億84百万円）や長期借入れによる収入（1億円）による資金調達に対し、長期借入金の返済（△2億14百万円）、配当金の支払（△79百万円）、自己株式の取得（△29百万円）などにより、財務活動により得られた資金は9億58百万円（前年同四半期は7億91百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、環境事業分野では、構造的な公共事業の縮減に伴う土木工事の減少により、厳しい状況が継続するものと考えております。但し、今後も建築用製品の出荷は順調に推移するものと思われれます。

しかしながら、不動産事業分野では、第3四半期連結会計期間以降での竣工を予定している販売物件の工事は順調に推移しており、予約状況も好調であります。

このような状況を総合的に勘案し、平成24年3月期の通期業績予想について、平成23年5月20日公表の業績予想を修正することといたしました。詳細につきましては、本日（平成23年11月4日）公表の「平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第2四半期連結会計期間において、非連結子会社である株式会社ジャンティを解散し、清算終了いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,546,251	982,438
受取手形及び売掛金	1,305,451	912,271
商品及び製品	634,347	868,201
仕掛品	7,249	7,032
原材料及び貯蔵品	40,454	42,121
販売用不動産	6,259,101	7,331,115
未成工事支出金	81,296	62,837
その他	314,722	354,187
貸倒引当金	△16,534	△8,613
流動資産合計	10,172,340	10,551,591
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,317,446	2,265,657
土地	2,559,918	2,560,169
その他(純額)	213,091	174,515
有形固定資産合計	5,090,456	5,000,342
無形固定資産	50,272	47,827
投資その他の資産		
その他	696,360	673,811
貸倒引当金	△58,478	△45,155
投資その他の資産合計	637,882	628,656
固定資産合計	5,778,611	5,676,825
資産合計	15,950,952	16,228,417
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,394,341	636,439
短期借入金	2,562,800	3,747,700
1年内返済予定の長期借入金	727,260	441,666
未払法人税等	104,142	88,800
賞与引当金	40,472	43,226
役員賞与引当金	22,000	—
その他	319,201	291,245
流動負債合計	5,170,218	5,249,078
固定負債		
長期借入金	1,927,845	2,099,317
資産除去債務	14,126	14,295
その他	606,120	610,193
固定負債合計	2,548,091	2,723,806
負債合計	7,718,310	7,972,885

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,652,065	1,652,065
資本剰余金	1,854,455	1,854,455
利益剰余金	4,914,722	4,946,052
自己株式	△145,969	△175,733
株主資本合計	8,275,273	8,276,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△26,049	△6,452
繰延ヘッジ損益	△18,396	△16,761
その他の包括利益累計額合計	△44,446	△23,213
少数株主持分	1,814	1,905
純資産合計	8,232,641	8,255,531
負債純資産合計	15,950,952	16,228,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,917,717	5,083,944
売上原価	3,300,844	4,122,654
売上総利益	616,873	961,290
販売費及び一般管理費	745,669	751,986
営業利益又は営業損失(△)	△128,796	209,303
営業外収益		
受取利息	603	302
受取配当金	2,098	2,314
仕入割引	8,105	9,326
貸倒引当金戻入額	—	14,669
保険返戻金	6,989	—
受取手数料	5,396	5,556
その他	9,017	10,711
営業外収益合計	32,211	42,881
営業外費用		
支払利息	46,789	45,543
持分法による投資損失	8,788	15,411
その他	4,954	2,012
営業外費用合計	60,532	62,967
経常利益又は経常損失(△)	△157,117	189,217
特別利益		
固定資産売却益	1,275	—
貸倒引当金戻入額	4,682	—
特別利益合計	5,957	—
特別損失		
固定資産除却損	203	247
投資有価証券評価損	2,304	1,806
減損損失	—	832
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,630	—
特別損失合計	4,138	2,886
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△155,298	186,330
法人税、住民税及び事業税	19,157	87,333
法人税等調整額	△67,728	△12,199
法人税等合計	△48,570	75,134
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△106,728	111,196
少数株主利益	—	237
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△106,728	110,958

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△106,728	111,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,807	19,597
繰延ヘッジ損益	△1,883	1,635
その他の包括利益合計	△24,690	21,232
四半期包括利益	△131,419	132,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△131,419	132,191
少数株主に係る四半期包括利益	—	237

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△155,298	186,330
減価償却費	134,425	126,922
減損損失	—	832
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,569	△21,243
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,348	2,753
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△22,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	18,307	—
受取利息及び受取配当金	△2,702	△2,617
保険返戻金	△6,989	—
支払利息	46,789	45,543
持分法による投資損益(△は益)	8,788	15,411
固定資産売却損益(△は益)	△1,275	—
固定資産除却損	203	247
投資有価証券評価損益(△は益)	2,304	1,806
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,630	—
売上債権の増減額(△は増加)	203,634	396,574
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,164,604	△1,378,676
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	8,581
仕入債務の増減額(△は減少)	30,376	△757,902
未払金の増減額(△は減少)	11,324	△45,765
未払消費税等の増減額(△は減少)	△58,777	20,205
前受金の増減額(△は減少)	44,225	12,286
預り金の増減額(△は減少)	△2,069	△8,689
その他	1,039	13,794
小計	△894,585	△1,405,604
利息及び配当金の受取額	2,805	2,658
利息の支払額	△46,871	△46,070
法人税等の支払額	△56,251	△85,982
営業活動によるキャッシュ・フロー	△994,902	△1,534,999
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△96,874	△24,520
固定資産の売却による収入	1,523	—
貸付けによる支出	△20,000	△21,980
貸付金の回収による収入	1,886	62,308
子会社株式の取得による支出	△9,800	△100
子会社の清算による収入	—	8,597
保険積立金の解約による収入	32,669	—
その他	7,772	△11,246
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,822	13,060

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,075,900	1,184,900
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△196,559	△214,121
自己株式の取得による支出	△4,971	△29,763
配当金の支払額	△79,775	△79,482
リース債務の返済による支出	△3,406	△3,406
財務活動によるキャッシュ・フロー	791,187	958,126
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△286,537	△563,813
現金及び現金同等物の期首残高	902,148	1,246,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	615,610	682,438

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	不動産開発 事業	賃貸・管理 事業	環境事業	特販事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,029,822	500,345	1,290,307	1,024,695	3,845,170	72,546	3,917,717
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33,000	23,759	—	—	56,759	44,221	100,980
計	1,062,822	524,105	1,290,307	1,024,695	3,901,930	116,767	4,018,697
セグメント利益又は損失 (△)	△22,834	101,274	△77,067	54,696	56,067	13,370	69,438

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業、衣料品事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	56,067
「その他」の区分の利益	13,370
セグメント間取引消去	△34,517
全社費用（注）	△163,717
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△128,796

(注) 全社費用は主に、セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	不動産開発 事業	賃貸・管理 事業	環境事業	特販事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,058,713	530,581	1,287,690	1,094,250	4,971,236	112,708	5,083,944
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	22,696	—	—	22,696	52,572	75,269
計	2,058,713	553,277	1,287,690	1,094,250	4,993,932	165,281	5,159,213
セグメント利益又は損失 (△)	176,363	186,025	△107,995	81,797	336,190	29,226	365,417

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業、衣料品事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	336,190
「その他」の区分の利益	29,226
セグメント間取引消去	△711
全社費用（注）	△155,401
四半期連結損益計算書の営業利益	209,303

(注) 全社費用は主に、セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。